

令和8年3月25日  
九州地方整備局

## 新たに4つの防災道の駅へ防災用コンテナ型トイレを設置 ～被災地のトイレ環境改善に向けて～

令和8年4月1日から、防災道の駅に選定されている「たのうら」「ゆふいん」<sup>みやこのじょう</sup>「都城NiQLL」「たるみずはまびら」の4駅において、防災用コンテナ型トイレの運用を開始します。

九州地方整備局が設置した防災用コンテナ型トイレは、防災道の駅「うきは」の既設1基を含め、全5基となります。この防災用コンテナ型トイレは、上下水道・商用電源接続不要の水洗トイレであり、災害時に被災地へ派遣し、公共インフラの機能が停止した地域のトイレ環境改善に寄与するとともに、平常時は「道の駅」で有効活用する事を目的としています。

令和6年能登半島地震では、防災道の駅「うきは」（福岡県うきは市）へ設置していた防災用コンテナ型トイレが、被災地にある道の駅「あなみず」（石川県穴水町）に派遣し、その有用性が確認されました。

- 【設置場所】○道の駅「たのうら」（熊本県葦北郡芦北町大字田浦657）  
○道の駅「ゆふいん」（大分県由布市湯布院町川北899-76）  
○道の駅「都城NiQLL」（宮崎県都城市都北町5225-1）  
○道の駅「たるみずはまびら」（鹿児島県垂水市浜平2036-6）

【運用開始】令和8年4月1日（水）10：00～（4駅共通）

### 【今回設置する防災用コンテナ型トイレの特徴】

- 微生物・オゾン等による汚水の浄化処理システムにより、洗浄水の循環使用が可能であり、上下水道接続及び汲み取り不要（移設時等除く）
- 太陽光発電及び蓄電装置により、商用電源への接続不要
- ジャッキによる運搬用トラックへの搭載が可能であり、クレーン不要
- 防災用コンテナ型トイレ1基につき、洋式便器2台（男性用1台、女性用1台）

【その他】取材を希望される方は、下記問い合わせ先に事前にご連絡ください。

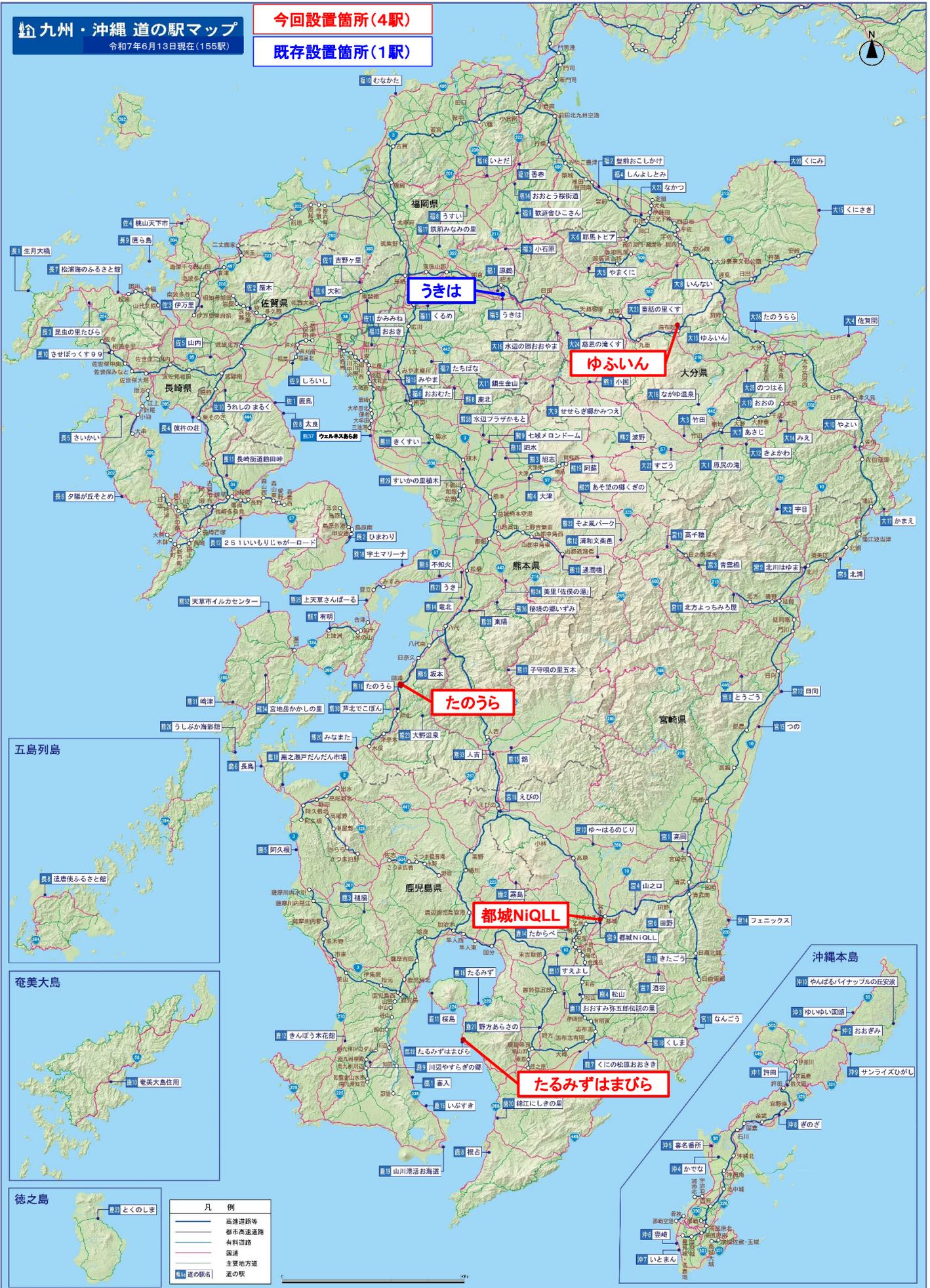
問合せ先：国土交通省九州地方整備局道路部  
交通対策課長 なかしま のぼる 中島 昇  
課長補佐 いなすみ 稲積 みのり  
電話番号：092-476-3534（交通対策課 直通）

九州・沖縄 道の駅マップ

令和7年6月13日現在(155駅)

今回設置箇所(4駅)

既存設置箇所(1駅)



凡 例	
	高速道路線
	都市高速道路線
	有料道路
	国道
	主要地方道
	道の駅(駅名)

# 防災用コンテナ型トイレ概要(今回設置箇所)

- 防災道の駅に選定されている「たのうら」「ゆふいん」「都城NiQLL」「たるみずはまびら」へ設置
- 災害時は、被災地へ派遣し、公共インフラの機能が停止した地域のトイレ環境改善に寄与するとともに、平常時も「道の駅」で活用〔防災用コンテナ型トイレ1基あたり 洋式便器2台(男性用1台、女性用1台)〕
- 微生物・オゾン等による汚水の浄化処理システムにより、洗浄水の循環使用が可能であり、上下水道接続及び汲み取り不要
- 太陽光発電及び蓄電装置により、商用電源への接続不要
- ジャッキによる運搬用トラックへの積載が可能であり、クレーン不要

道の駅「たのうら」



道の駅「都城NiQLL」



道の駅「ゆふいん」



道の駅「たるみずはまびら」



# 防災道の駅「うきは」より被災地へ防災用コンテナ型トイレを派遣 ～令和6年能登半島地震における活用～

別添 3

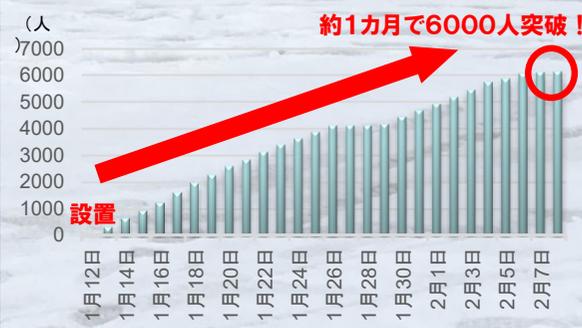


あなみずまら  
石川県穴水町  
(令和6年1月撮影)

## 防災用コンテナ型トイレの特徴

- 災害時に移動して使えるコンテナ型の水洗トイレ  
(平常時は、道の駅「うきは」に設置)
- 太陽光発電装置を搭載し、商用電源への接続が不要
- 浄化システムを搭載し、上水道・下水道への接続、汲み取りが不要
- 停電、断水中でも使用可能**

## トイレ累計利用者数



うきは まも  
福岡県うきは市浮羽町  
(令和6年1月撮影)